



Aironet Client Monitor (ACM) の使用方法

この章では、Aironet Client Monitor (ACM) を使用してクライアント アダプタに関するステータス情報にアクセスし、基本的な作業を実行する手順を説明します。

この章では、次の項目について説明します。

- [ACM の概要 \(P.8-2\)](#)
- [ACM アイコン \(P.8-2\)](#)
- [Tool Tip ウィンドウ \(P.8-3\)](#)
- [ポップアップ メニュー \(P.8-5\)](#)

ACM の概要

ACM は、ACU で使用できる機能の一部をまとめたオプション アプリケーションです。具体的には、使用しているクライアントアダプタのステータス情報の確認、および基本的な作業の実行が可能です。ACM には Windows システム トレイのアイコンからアクセスできるため、アクセスしやすく使いやすくなっています。

ACM のアイコンは、クライアント アダプタがコンピュータにインストールされていて、そのインストールの際に ACM を無効にしなかった場合に表示されます。複数のクライアントアダプタがインストールされている場合、各アダプタのシステム トレイに ACM アイコンが表示されます。

ACM は次の方法で情報とオプションを提供します。

- アイコン自体の表示
- カーソルをアイコンの上に置いたときに表示されるツールチップ ウィンドウ
- アイコンを右クリックしたときに表示されるポップアップ メニュー

ACM アイコン

ACM アイコンの外観は、クライアントアダプタの接続ステータスを表します。ACM はクライアントアダプタのステータスを読み込み、2 秒おきにアイコンを更新します。表 8-1 に ACM アイコンのそれぞれの意味を示します。



(注)

Windows 2000 および XP では、システム トレイに独自の無線ネットワーク接続のステータスアイコンが表示される場合があります。Windows のアイコンをオフにして、ACM アイコンから無線接続を監視することをお勧めします。

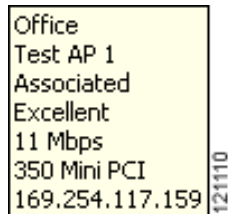
表 8-1 ACM アイコンの意味

アイコン	説明
	無線がオフになっている。
	アクセス ポイントにアソシエートされている。
	アクセス ポイントにアソシエートされているが、ユーザが認証されていない。
	アクセス ポイントにアソシエートされ、リンクの品質は Excellent、または Good である。
	アクセス ポイントにアソシエートされ、リンクの品質は Fair である。
	アクセス ポイントにアソシエートされ、リンクの品質は Poor である。

Tool Tip ウィンドウ

ACM アイコンの上にカーソルを置くと、Tool Tip ウィンドウが表示されます (図 8-1 を参照)。

図 8-1 Tool Tip ウィンドウ



このウィンドウに、クライアントアダプタの現在のステータス情報が示されます。表 8-2 に、Tool Tip ウィンドウの各要素と説明を示します。

表 8-2 Tool Tip ウィンドウの要素





ステータス要素	説明
アクティブなプロファイル	<p>クライアントアダプタが現在使用しているネットワーク設定 (またはプロファイル)。</p> <p> (注) 自動プロファイル設定が有効になっている場合、「Auto」という語の前にプロファイル名が表示されます。</p> <p> (注) ACU 以外のアプリケーションを使用してクライアントアダプタを設定した場合は、「Other Configuration Application」が表示されます。</p>
SSID	<p>クライアントアダプタが現在アソシエートしているネットワークの名前。</p> <p> (注) クライアントアダプタの SSID の設定手順については、表 5-2 の SSID1 パラメータを参照してください。</p>

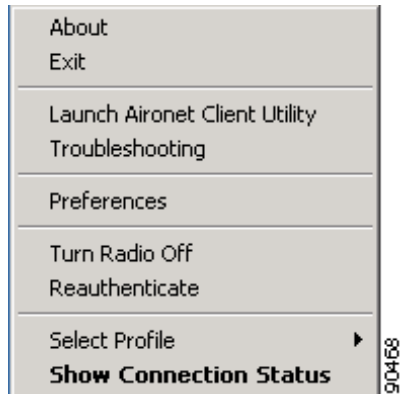
表 8-2 Tool Tip ウィンドウの要素 (続き)

ステータス要素	説明	
接続のステータス	クライアントアダプタの動作モード。 値: Radio Off、Not Associated、Associated、Authenticating、Authenticated、または Authentication Failed	
	Connection Status	説明
	Radio Off	無線がオフになっている。
	Not Associated	アクセスポイントへの接続が確立されていない。
	Associated	アクセスポイントへの接続が確立されている。
	Authenticating	アクセスポイントにアソシエートされ、認証プロセスが開始されたが、まだ成功していない。
	Authenticated	アクセスポイントにアソシエートされ、ユーザが認証されている。
	Authentication Failed	アクセスポイントにアソシエートされているが、ユーザの認証の試行に失敗した。  (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアントアダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは「Not Associated」と表示されます。
リンクの品質	クライアントアダプタがアクセスポイントと通信する能力。これは、アダプタの信号強度と信号品質の組み合わせで決まります。 値: Excellent、Good、Fair、Poor	
リンク速度	クライアントアダプタが現在データパケットの送信に使用している速度。 値: 1、2、5.5、または 11Mbps (2.4GHz クライアントアダプタの場合)、6、9、12、18、24、36、48、または 54Mbps (5GHz クライアントアダプタの場合)	
クライアントアダプタのタイプ	クライアントアダプタについての記述。	
クライアントアダプタの IP アドレス	クライアントアダプタの IP アドレス。	

ポップアップメニュー

ACM アイコンを右クリックすると、ACM ポップアップメニューが表示されます (図 8-2 を参照)。

図 8-2 ACM ポップアップメニュー



次の項で ACM ポップアップメニューの各オプションを説明します。

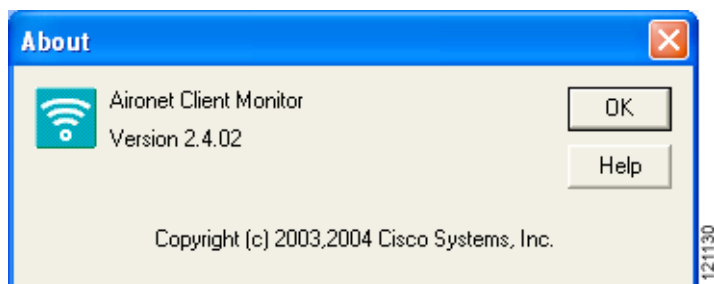


(注) Aironet Client Monitor Preferences 画面を使用している場合、またはシステム管理者が管理ツールを使って特定の ACM メニューのオプションを無効している場合、次のオプションはメニューに表示されず、選択できません。

About

このオプションを選択すると、About 画面が表示されます (図 8-3 を参照)。

図 8-3 ACM の About 画面



About 画面にはコンピュータで動作中の ACM のバージョンが表示されるほか、この画面からオンラインヘルプにアクセスすることもできます。オンラインヘルプにアクセスするには、**Help** ボタンをクリックします。ACM の概要が表示されます。

Exit

このオプションはすべてのクライアントアダプタで ACM を終了します。



(注) ACM を再度有効にするには、Windows エクスプローラを使用して ACM ソフトウェアがインストールされているパスを探します (デフォルトの場所は、C:\Program Files\Cisco Systems\Aironet Client Monitor です)。**ACUMon.exe** をダブルクリックします。

Launch Aironet Client Utility

ACU を起動します。ACU がインストールされている場合にだけ使用できます。Windows システムトレイに複数の ACM アイコンが表示されている場合、ACU は起動に使われたアイコンに関連付けられているクライアントアダプタを使用するように自動的に初期化されます。

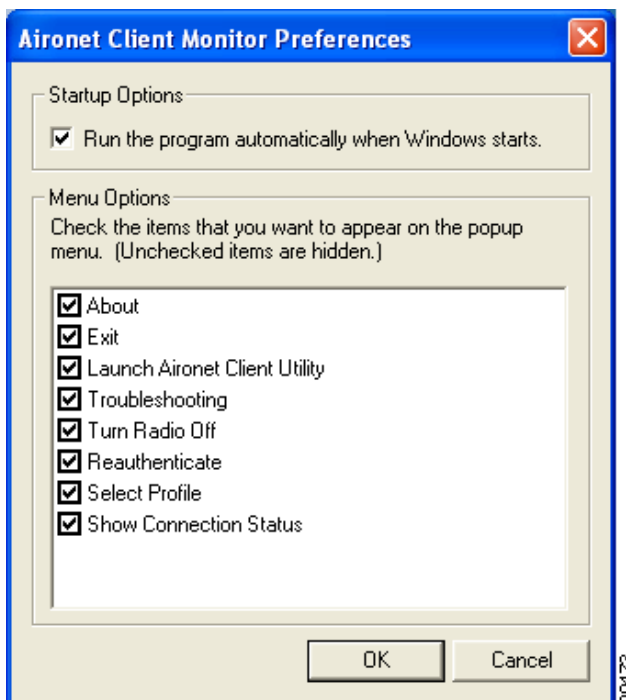
Troubleshooting

Cisco Wireless LAN Adapter Troubleshooting Utility を起動し、クライアントアダプタで発生した設定とアソシエーションに関する問題を特定し、解決できるようにします。このユーティリティの使用方法的詳細は、「[トラブルシューティング ユーティリティの使い方](#)」の項 (P.10-3) を参照してください。

Preferences

このオプションを選択すると、Aironet Client Monitor Preferences 画面が表示されます (図 8-4 を参照)。

図 8-4 Aironet Client Monitor Preferences 画面



この画面を使用すると、ACM を実行する条件を指定し、ACM ポップアップメニューに表示されるオプションを選択できます。選択項目は、ACM のすべてのインスタンスに適用されます。たとえば、Troubleshooting オプションの選択を解除すると、ACM アイコンのポップアップメニューに表示されなくなります。

選択する手順は次のとおりです。

- ステップ 1** Windows が起動したときに ACM が自動的に実行されるようにするには、**Run the program automatically when Windows starts** チェックボックスがオンになっていることを確認します。それ以外の場合、このチェックボックスをオフにします。



(注) このオプションを選択せず、後で ACM を実行する場合は、Windows エクスプローラを使用して ACM ソフトウェアがインストールされているパスを探す必要があります(デフォルトの場所は、C:\Program Files\Cisco Systems\Aironet Client Monitor です)。**ACUMon.exe** をダブルクリックします。

- ステップ 2** 画面の Menu Options 部分で、ACM ポップアップメニューに表示するオプションのチェックボックスがすべてオンになっていることを確認します。オフになっているオプションは、メニューに表示されません。



(注) Preferences オプションはオフにできません。これは常に ACM ポップアップメニューに表示されます。

- ステップ 3** **OK** をクリックして、変更を保存します。

Turn Radio On/Off

このオプションを使用すると、クライアントアダプタの無線のオンとオフを切り替えることができます。無線をオフにすると、アダプタの RF エネルギーの放出を防げます。次のような状況では、クライアントアダプタの無線をオフにする必要があります。

- データを送信していないときに、バッテリー電源を節約する。
- EAP-SIM 認証が透過的に発生するように設定されている状態 (SIM カードがリーダーに差し込まれたままで、PIN がコンピュータに保存されている状態) で、クライアントが認証を実行できるエリアに入ったときに、エアタイムに課金されないようにする。
- 飛行機内でラップトップ PC を使用しているときに、アダプタの送信が特定のデバイスの動作に干渉することを防止する。

無線がオンの間は、アクセスポイントにアソシエートされていなくても、定期的にプローブが送信されます。これは、802.11 規格で要求されている動作です。したがって、RF 妨害を受けやすいデバイスの周囲では、無線をオフにしておくことが重要です。



(注) 無線がオフの間、クライアントアダプタはアソシエートされません。



(注) コンピュータをスタンバイ モードまたは休止モードにする前、またはコンピュータをリブートする前に、クライアント アダプタの無線をオフにした場合、コンピュータが通常動作に復帰しても無線はオフのままです。無線をオンに戻して動作を再開させる必要があります。

無線がオンの場合、無線をオフにするには **Turn Radio Off** を選択します。

無線がオフの場合、無線をオンにするには **Turn Radio On** を選択します。

Reauthenticate

クライアント アダプタが現在のプロファイルで使用されている名前とパスワードを使用して再認証を試みるように指定します。

指定されたユーザ名とパスワードを使用してもクライアント アダプタが認証されずにリトライ制限を超えると（たとえば、LEAP および EAP-FAST 認証では、ユーザがシステムからロックアウトされずに認証を試すことができるのは 1 度だけです）、ユーザ名またはパスワードを変更するか、コンピュータをリブートするか、クライアント アダプタをいったん取り出して挿入し直すか、または Reauthenticate オプションを選択するまで現在のプロファイルは無効になります。

Select Profile

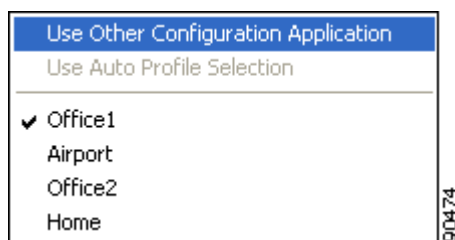
クライアント アダプタで有効なプロファイルを選択できます。



(注) EAP-TLS、PEAP、および EAP-SIM がオペレーティング システムで有効になっているため、単に ACM でプロファイルを切り替えてもこれらの認証タイプを切り替えることはできません。ホストベース EAP を使用するプロファイルを ACM で選択できますが、Windows で特定の認証タイプを有効にしなければなりません（Windows で Microsoft 802.1X サプリカントを使用していることが条件です）。また Windows で一度に設定できるのは 1 つの認証タイプだけです。このため、ホストベース EAP を使用する複数のプロファイルが ACM にある状態で、別の認証タイプを使用する場合は、ACM でプロファイルを切り替えた後で Windows で認証タイプを変更する必要があります。

ACM ポップアップ メニューから Select Profile を選択すると、プロファイルのサブメニューが表示されます（[図 8-5](#) を参照）。

図 8-5 プロファイル サブメニュー



このメニューでは、次のオプションから選択できます。

- **Use Other Configuration Application** : ACU 以外のアプリケーションでクライアント アダプタを設定できるようにします。このようなアプリケーションの例として、Windows XP および Boingo があります。
- **Use Auto Profile Selection** : 自動プロファイル選択の対象となるように ACU で設定されているプロファイルのリストから、クライアントアダプタのドライバにより、プロファイルが自動的に選択されます。

クライアントアダプタのアソシエーションが失われている時間が 10 秒間（または、LEAP が有効な場合は LEAP Settings 画面、EAP-FAST が有効な場合は EAP-FAST Settings 画面の認証タイムアウト値で指定された時間）を超えると、プロファイルは、自動プロファイル選択の対象となっている別のプロファイルに自動的に切り替わります。アダプタは、アクセスポイントにアソシエートされている間、または 10 秒以内（または認証タイムアウト値で指定された時間内）に再アソシエートした場合は、プロファイルを切り替えません。クライアントアダプタを強制的に別のアクセスポイントにアソシエートするには、新しいプロファイルを選択する必要があります。



(注) このオプションが使用できるのは、自動プロファイル選択に複数のプロファイルが含まれている場合だけです。



(注) 自動プロファイル選択を LEAP または EAP-FAST で使用する場合は、ログインスクリプトは信頼性に欠けます。コンピュータにログインする前またはログインと同時に認証を実行し、ネットワーク接続を正常に確立すると、ログインスクリプトが実行されません。しかし、コンピュータにログインした後に認証を実行し、ネットワーク接続を正常に確立した場合は、ログインスクリプトが実行されません。

- **A specific profile** : 使用可能なプロファイルのリストからプロファイルを選択すると、クライアントアダプタはそのプロファイルに設定されているパラメータを使用してアクセスポイントとの接続を設定しようとします。

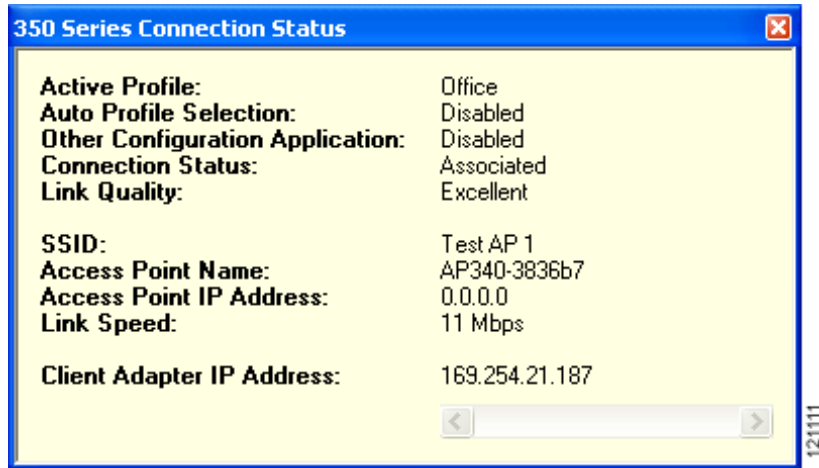
選択されたプロファイルを使用して、アクセスポイントへのアソシエーションに失敗したり、アソシエーションが失われたりした場合でも、クライアントアダプタは別のプロファイルを使用してアソシエートし直そうとはしません。アソシエートするには、別のプロファイルを選択するか、Use Auto Profile Selection を選択する必要があります。

目的のプロファイルをクリックして選択します。プロファイルの横にチェックマークが表示され、クライアントアダプタは選択されたプロファイルで接続を設定しようと試みます。

Show Connection Status

このオプションを選択すると、Connections Status 画面が表示されます (図 8-6 を参照)。

図 8-6 Connection Status 画面



この画面にはクライアントアダプタの現在のステータスに関する情報が示されます。表 8-3 に Connections Status 画面の各要素の意味を示します。




(注) ACM アイコンをダブルクリックしても、Connections Status 画面にアクセスできます。

表 8-3 Connection Status 画面の要素

ステータス要素	説明	
Active Profiles	クライアント アダプタが現在使用しているネットワーク設定 (またはプロファイル)。	
Auto Profile Selection	クライアント アダプタが自動プロファイル選択を使用しているかどうかを示します。 値: Enabled または Disabled	
Other Configuration Application	ACU 以外のアプリケーションがクライアント アダプタの設定に使用されているかどうかを示します。 値: Enabled または Disabled	
Connection Status	クライアント アダプタの動作モード。 値: Radio Off、Not Associated、Associated、Authenticating、Authenticated、または Authentication Failed	
	接続のステータス	説明
	Radio Off	無線がオフになっている。
	Not Associated	アクセス ポイントへの接続が確立されていない。
	Associated	アクセス ポイントへの接続が確立されている。
	Authenticating	アクセス ポイントにアソシエートされ、認証プロセスが開始されたが、まだ成功していない。
	Authenticated	アクセス ポイントにアソシエートされ、ユーザが認証されている。
	Authentication Failed	アクセス ポイントにアソシエートされているが、ユーザの認証の試行に失敗した。  (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアント アダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは「Not Associated」と表示されます。
Link Quality	クライアント アダプタがアクセス ポイントと通信する能力。これは、アダプタの信号強度と信号品質の組み合わせで決まります。 値: Excellent、Good、Fair、Poor	
SSID	クライアント アダプタが現在アソシエートしているネットワークの名前。  (注) クライアント アダプタの SSID の設定手順については、表 5-2 の SSID1 パラメータを参照してください。	
Access Point Name	クライアント アダプタがアソシエートしているアクセス ポイントの名前。このフィールドが表示されるのは、クライアント アダプタがインフラストラクチャモードで動作し、アクセス ポイントに名前が設定され、Aironet Extensions が有効になっている場合だけです (アクセス ポイントでは Cisco IOS リリース 12.2(4)JA 以降が実行されていること)。  (注) アクセス ポイント名が 15 文字を超えている場合でも、このフィールドには 15 文字までしか表示されません。	

表 8-3 Connection Status 画面の要素 (続き)

ステータス要素	説明
Access Point IP Address	<p>クライアントアダプタのアソシエート先のアクセスポイントの IP アドレス。このフィールドが表示されるのは、クライアントアダプタがインフラストラクチャモードで動作し、アクセスポイントに IP アドレスが設定され、Aironet Extensions が有効になっている場合だけです (アクセスポイントでは Cisco IOS リリース 12.2(4)JA 以降が実行されていること)。</p> <p> (注) Aironet Extensions が無効になっている場合、アソシエートされたアクセスポイントの IP アドレスは 0.0.0.0 と表示されます。</p>
Link Speed	<p>クライアントアダプタが現在データパケットを送信している速度。</p> <p>値: 1、2、5.5、または 11Mbps (2.4GHz クライアントアダプタの場合)、6、9、12、18、24、36、48、または 54Mbps (5GHz クライアントアダプタの場合)</p>
Client Adapter IP Address	クライアントアダプタの IP アドレス。